

ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
楽器レッスン1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	渡邊具義/田中亮輔 田中綾美/下田武男/藤本健一			実務 経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。 他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、プロの世界が協働の場であることを理解し、ミュージシャンとしての楽器知識を得るとともにコンサート制作現場での職業についての知識も『楽器デック』を中心に学習する。出演者、裏方共通してどのような知識が必要で、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。											
到達目標											
この科目では、学生が、日々の音楽活動においての楽器の扱い方を学び自分の機材をベストな状態を保てるようになる。またバンド活動などで、他パートの機材知識知ることによってセッティングの時間短縮、音色の理解につながるアンサンブルの向上、リハーサル、本番での作業効率の向上することができる。プロになって活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会で協働することの重要性を理解することなどができるようになることが目標とする。											
授業方法											
この授業では、まず講師よりその回のテーマとなる機材について基本的な使用方法、注意点などをレクチャーする。その後実際に機材を使い実践して知識を学びます。回を重ねることで楽器全般の扱いを理解し他のミュージシャンの機材も扱っていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。職業実践の観点から、授業中の受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ローディーワークおよび業界の1日の流れを知る										
第2回	ドラムの各名称、扱い方を知る										
第3回	ギター、ベースアンプの扱い方を知る										
第4回	シンセサイザーの扱い方を知る										
第5回	全てのパートのセッティングを行い、バンドとしてのアンサンブル、見栄えなどを考察する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
楽器レッスン1	
第6回	各自のセッティングをデータ化し資料作成の重要性を理解する
第7回	バンドのセッティングなどをデータ化しスタッフとの連携の重要度を理解する
第8回	電源の基礎と重要性を理解する
第9回	チェックの仕方を覚える
第10回	コンサートイベント科見学（スタッフの動き中心）
第11回	PA知識、機材、職業などの基礎を知る
第12回	PA機材をセッティングする
第13回	プロバンドを呼び実際のセッティングを考察する
第14回	プロバンドのセッティングを実践する
第15回	前期のまとめ